

Visual	scece	shot	subtitle	object	audio	part	music / sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽 / 音	歌詞	
1	1	陸軍省 海軍省 許可済						
2	1	紀元二千六百年記念 菊作家					○	
3	1	企画 逓信省					○	
	2	製作 合資会社横浜シネマ商会					○	
	3	原作脚色 青地忠三 潤色演出 マーク(四角に数字の8を横に寝かした状態)下間登良男 戸塚義麿 撮影N.S.C 宮崎正男 岸田崇典					○	
	4	出演 マーク(右上の角が尖った状態の四角と数字の8を横に寝かした状態)第一協団 全日本自由契約 映画俳優協会					○	
	5	父 浅田健三 母 木下ゆづ子 健一 金光嗣郎 明 阿部好司 由紀子 矢野朋子					○	
	6	石川 国方博之 工場長 清水元 主任 原田耕一郎 明の友人 上野市郎 老人 千葉					○	
4	1		工場用資材や車、クレーン車など				○	
	2		体操をする工場で働く人達				○	
5	1		煙の出ている煙突					
	2		煙突と小屋					
	3		運搬するクレーン車、工場の作業場					
	4		クレーンで物が運ばれてゆく					
	5		作業場で鉄を打っている従業員					
	6		鉄をおさえている健一		健一:おい、石川、しっかり打てよ。			
	7		鉄を打つ石川		石川:何、健さん大丈夫だよ。			
	8		作業場、とんかちで鉄を打つ従業員達					
6	1		時計「5時30分」					
	2		帰路へつく従業員達、道路を通るトラック					
	3		工場から出る従業員達、その前をトラックや自転車が横切る					
	4		帰宅する従業員たち、誰かを探す健一					
	5		帰っていく従業員たちの足					
	6		帰路へつく従業員達、道端で何かを拾う老人					
	7		しゃがんで煙草を拾いそれをズボンで拭く老人					
	8		足と車輪					
	9		ふと立ち上がる老人					
	10		帰っていく従業員達		健一:おーい、石川。			
	11		健一の呼び声に気づく石川、そして帰っていく2人。怒鳴り声に気づく健一と石川。		健一:おい、石川。冷たいぞ先行くなんて。 石川:いやー、すまん、すまん。そういうわけじゃないんだよ。どうせ今晚の会でもなあええと思ったからね。 健一:まあいい、一緒に行こう。 車に乗った人:危ない。			
6	12		老人に向かって怒鳴る車に乗った男性		車に乗った人:バカ。何をうろろしているんだ。気をつける。			
	13		倒れた老人、走り去る車、老人のもとに集まる人達		健一:どうした、えー。			
	14		帰っていく人達					
	15		老人に話しかけ、気遣う健一と石川		健一:どうしたよ、おじいさん。怪我はしなかったかい? 老人:はい、えっ、別に。 石川:そうかい、まあ怪我なくてよかったなあ。 健一:乱暴だなあ。えーつ。			
	16		老人を見つめる学生達					
	17		老人を見つめる女性					

scece シーン	shot ショット	subtitle 字幕	object 被写体	narration ナレーション	part セリフ	music / sound 音楽 / 音	lyric 歌詞
	18		老人を気遣う健一と石川		健一: つらいのなら、おじいさん、その辺まで一緒に行ってあげるよ。 老人: はい。		
	19		健一と石川の手を借り立ち上がらせてもらう老人、老人の周りに集まった人達が帰っていく、老人についたゴミを払う健一と石川		老人: すいません。 石川: あのさ、大丈夫かい? さあ行こう。		
7	1		一緒に歩いていき、橋を渡る老人と健一と石川		健一: この辺今頃混雑するから危ないよ。 石川: おじいさん、それでこれからどこへ行くんだい? 老人: はい。、別にどこってあてはありませんが。 石川: あっ、煙草ならあるよ。さあ、これを吸いなよ。まあ口口遠慮しなくて。		
	2		煙草に火をつけてもらい吸う老人、それを見る健一と石川		老人: 私も昔はこの工場で頑張った時代もありましたよ。 健一: ほお、おじいさんがねえ。 老人: 凄い景気ですてねえ。口口口	○	
	3		昔を思い出す老人		老人: 私もあなたの方のように若くて、達者だった。	○	
8	1		かまどの火			○	
	2		鉄を打つ2人		老人: 働いた、働いた。	○	
	3		打たれている熱された鉄			○	
	4		鉄を打つ若かりし時の老人		老人: 誰にも	○	
	5		打たれている熱い鉄		老人: 負けずに	○	
	6		鉄を打つ若かりし時の老人		老人: 働きとおした	○	
	7		打たれている熱い鉄			○	
9	1		小銭とお札とそれを扱う手		老人: 金だっておもしろい	○	
	2		若い頃のスーツを着た老人		老人: ほど儲かった。	○	
10	1		灯り「白い雫？」		老人: 自分でも気味が悪いほど	○	
	2		灯り			○	
	3		三味線を弾いている女性1		老人: それをいいことにして	○	
	4		三味線を弾いている女性2		老人: あげくれ	○	
	5		女性1		老人: 暇さえあれば	○	
	6		女性2		老人: 酒びたり	○	
	7		お酒で乾杯をし食事をする		老人: 飲んだり食ったり	○	
	8		笑う若かりし頃の老人		老人: 騒いだり	○	
	9		酒を注ぐ女性達		老人: 金があるうちはつい	○	
	10		笑う女性		老人: いい気になって	○	
	11		振り返る女性		老人: ただ	○	
	12		女性達と酒を交わす若かりし頃の老人		老人: ただむちゃくちゃに面白くて	○	
	13		微笑む女性		老人: 口口口あそびをして	○	
11	1		煙突と小屋		老人: いるうちにやがて恐ろしい	○	
	2		閑散とした工場		老人: 不景気がやってきて	○	
	3		閑散とした工場、外の草		老人: 一時にどっと工場があって閉鎖した時は	○	
	4		荒れた工場とそこに茂った草木		老人: もうくびになって、たくわえも無く、たった1人の気任せに気がついたときはもうふみもちもまちで	○	
12	1		水面と土手に生える草		老人: 身体がきかなくなり	○	
	2		老人の話を聞きながら歩いていく健一と石川		老人: 誰1人面倒を見てくれるものも無く、それからすること、なすこと失敗だらけで御覧の通りの姿ですよ。はっはっ…。 健一: おじいさん、ありがとう。とてもためになるお話で、身に沁みましたよ。 老人: いや、つまらん愚痴をお聞か	○	
	3		老人と小さな橋の上で別れる健一と石川		老人: 口口お若いうちに、せっかく気をつけてくださいよ。	○	

scece	shot	subtitle	object	narration	part	music / sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽 / 音	歌詞
	4		水面、土手に生える草			○	
	5		歩いていく老人、振り向いてお辞儀をする			○	
13	1		兵士の写真、花瓶の花、封筒、ラジオ、話しながら夕食を食べている家族		由紀子：□□□□さんからお便りよ。 健一：そうかい、相変わらず元気だろうな。 由紀子：ええ、果敢に掃討戦をやっているが、まだ1人も傷兵なしだ。 健一：うーん。		
	2		話す父		父：お父さんは今年もまた菊で夢中でしょうと書いてあったよ。		
	3		話す母		母：お父さんはすぐご自分の事ばかりです□□ね。		
	4		話す父		父：しかし、間違いなく書いてあるんじゃないからしょうがないじゃないか、ははは…。		
	5		(健一の後姿からみて)話しながら夕食を食べる健一の家族		由紀子：支那の菊も日本と同じですってね。 父：うーん？ 健一：当たり前さ。支那だって東洋だから同じさ。 父：東洋のほうが良かったなあ、ははは。 由紀子：そう言ってしまうと、それまでよ。 父、母：おー。 父：怒ったなあ、ははは…。 母：ほほほ…。		
	6		(母親に焦点を当てて)夕食を食べる健一の家族		母：ああ、それはそうと、さっきのお年寄りのお話、身内はないのかしらねえ。 健一：ええ、ないらしいでしたよ。 母：うーん。 由紀子：可哀想ね、お父さん。 父：うーん。うん。若いときの心がけ一つでそういうことになるんだ。景気のいい、悪いに関わらず、真面目な生活のうちに先々のことを考えておかんといかんのだ。		
	7		(健一を正面にして)夕食を食べる健一の家族		父：それに、今の老人の話は気の毒だが、いい戒めだ。なあ健一。 健一：ええ。		
	8		ひっくり返された茶碗やおかれた箸、まだ来ていない明の席				
	9		(健一を正面にして)夕食を食べる健一の家族		健一：お母さん、明まだですか？ 母：うん、今日は早引けだと言っていたんだがね。		